



大平尚企画理事(右)と北
上山地の周辺を視察するス
テファン・カウフマン議員
(右から2人目)

誘致に向け協力確認

カウフマン
独議員 建設候補地を視察



東北誘致

ドイツ連邦議会のステフ
アン・カウフマン議員は30
日来県し、国際リニアコシ
イダー(ILC)の建設候
補地とされる一関市大東町
を視察した。達増知事や勝
部修市長らと意見交換も行

つた。【関連記事25面】

大原地区の田園地帯から
北上山地(北上高地)を望
み、県の大平尚企画理事か
ら地下トンネルの整備計画
など説明を聞いた。大原市
民センターでは地質調査で
採取した花こう岩のサンプ
ルを見た。

達増知事との意見交換は
非公開で行い、出席者によ
ると、本県側は受け入れ準

備状況などを説明。ILC
の欧州側の調整役を担うカ
ウフマン氏は「ILCの実
現に向け、われわれも協力
していく」と応じた。

来県にはドイツ電子シン
クロトロン(DESY)の
ヨアヒム・ムニック所長、
フランスのサクレール研究所
(Saclay)のマキシ
ム・ティトフ氏も同行した。
視察後、カウフマン氏は
「ILC誘致を実現したい
という県民の強い思いを感
じた。年内に日本政府が誘
致の決断をすると期待して
いる」と強調した。